

令和2年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第5回議事録（要旨）

日 時：10月13日（火）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 12名（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、  
後藤委員、佐藤委員、柴田委員、島津委員、田村委員、中島委員、元田委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）平和の日イベント実施概要【資料1-1、資料1-2、資料1-3】

・事務局より平和の日イベント実施概要について説明。

【副委員長】講演会当日の役割分担を行う。

→司会：小餅委員

受付：柴田委員、島津委員、元田委員

誘導：牛田委員、大上委員、北山委員、田村委員、中島委員

【委 員】アンケートの回収はどのように行うのか。受付に持って来てもらうのか、座席に置いたままにしてもらうのか。

【事務局】出口に大きな箱を設置し、そこにに入れてもらう。直接受け渡しのないように工夫する。

【委 員】託児利用者の誘導について、受付係は職員に引き継ぐのか、誘導係に引き継ぐのか。

【事務局】まず職員に引き継いでいただき、職員が託児室に案内する。お子様を預けた後は職員から誘導係に引き継ぎ、託児利用者の指定席に座っていただく。

【委 員】固定席350席のうち、定員は何名か。

【事務局】80名で広報している。

【委 員】実行委員を除いた人数か。

【事務局】実行委員を除いた人数である。

【委 員】市報は11月1日号に掲載されるのか。

【事務局】11月1日号に掲載される。

【委 員】80名を超えたら抽選になるのか。

【事務局】国や東京都で人数制限が解除されたので、様子を見ながら対応したい。

【委 員】申込締切はいつか。

【事務局】11月11日として広報している。市報11月15日号では特集面で平和を取り上げるので、それを見て問い合わせをいただいた方には臨機応変に対応したい。季刊むさしのにも平和を取り上げてもらうので、断続的に広報する。

【委 員】講演テーマは何か。

【事務局】「戦後75年・戦争体験をどう継承するか」になった。講演会に来ることができなかつた方にも見てもらえるように、12月にウェブで公開する。また、オンラインで視聴した方にご感想をうかがえるようにアンケートを回収で

きるようにしたい。

【委員】ハガキを持ってきた人が優先ということによろしいか。

【事務局】お見込みのとおり。事前申込のない方がいらっしゃった場合は、席に余裕があれば連絡先をうかがったうえでご案内する。

【委員】当日は検温するのか。

【事務局】サーモグラフィカメラを市で持っているので、非接触型体温計とあわせて使用する。

【委員】吉田先生のプロフィール文はどうなったのか。

【事務局】ご経歴の部分は一部削除して、ご著書の紹介を多めにとった。吉田先生にご確認いただいたうえで広報する。

【委員】チラシは作るのか。

【事務局】配布する。市ホームページからも見られるようにする。

【委員】図書館ミニトピックスに吉田先生の紹介コーナーを作れるか。

【事務局】図書館と相談して設置する。

【委員】パネル展の期間が短く、11月24日の平和の日より前に終わってしまうのはいかがなものか。

【事務局】担当課に場所を使えるか確認する。

【委員】飲食不可というのは、水分補給もだめなのか。

【事務局】水分補給は可能。

【委員】戦争体験記録集等の冊子は配布できないのか。

【委員】当日プログラムにPDF版冊子のQRコードをつけてはどうか。

【委員】平和・憲法手帳は当日プログラムと一緒に座席に置いてみるのはいかがか。

【事務局】希望者には受付で渡すなど、方法を検討したい。

## (2) 研修会について【資料2】

・事務局より研修会（案）について説明。

【委員】この案の中からどれか1つを選ぶのか、すべて実施するのか。

【事務局】皆様のご都合もあると思うので、どれか1つを選んでいただく。事務局の案以外にも皆様の案をうかがえればと思う。

【委員】今日は案出しのみか、決定するのか。いつまでに最終決定するのか。

【委員】決まるのなら今日決めてしまっても良いのではないか。

【事務局】実施時期にもよるが、次回会議までには決定したい。バス借上げの都合上、フィールドワークを行うかどうかを本日は確認したい。

【委員】この時期なので、外出は避けたい。

【委員】バスも定員があるので、いつものマイクロバスで行うのは厳しいのではないか。

【事務局】マイクロバスより大きいバスを借り上げることになる。

【委員】現地集合、現地解散にすればもう少し議論する時間の余地があるのではないか。2月に実施すれば良い。

【委員】来年が平和の日条例制定10周年なので、この10年間の取り組み等を振り返る研修が良いのではないか。フィールドワークは準備が大変なので賛成できないが、振り返る機会があっても良いのではないか。

- 【委員】10年間の活動の総括ということで良い案だと思う。
- 【事務局】実行委員だけでなく、市職員も対象にお話ししていただいているかどうか。
- 【委員】バスで外出するとなると難しいので、座学も良いと思う。
- 【委員】平和の日条例制定10周年を迎えるので、これまでの取り組みを次世代に継承してほしい。事業の歩みを振り返るのはどうか。
- 【委員】実施時期はどうなるのか。
- 【事務局】研修内容は今回の決定でも大丈夫だが、実施時期については今回決定していただきたい。
- 【委員】自分自身、この会議で勉強させてもらっているので、10年間の振り返りに賛成。
- 【副委員長】10年間の振り返りを内容として、実施時期は次回決定で良いか。

→賛同

- 【事務局】次回までに会場等を確認する。

### (3) 「平和・憲法手帳」(第二版) について【資料3】

- ・事務局より「平和・憲法手帳」(第二版) について説明。

- 【委員】13ページから黒点が多く、字が並んでいるので、ビジュアル要素を入れていくと読みやすいのではないかと。22ページの写真を年表に入れてほしい。
- 【委員】憲法条文の見出しをわかりやすいものに変更してほしい。また、条約や法令を新しく入れてほしい。「第〇条」が現在は漢数字になっているので、アラビア数字に変えてほしい。憲法条文の見出しは古い言い回しが多いので変えるべき。以前憲法月間記念行事に講師としてお招きした青井未帆先生も条文に見出しをつけている。新しい条約としては、日本は批准していないが「核兵器禁止条約」を掲載してほしい。
- 【事務局】ご意見としてうかがうが、すべて反映できるものではないことを了承いただきたい。
- 【委員】具体的な案を示していただけてから検討したい。表紙に実行委員会の名前があるので、市と実行委員会が協働で発行しているように見える。最大限反映してほしい。
- 【事務局】憲法条文の見出しは著作権があるので許諾が必要。
- 【委員】見出しに著作権があっても許諾を取れば良い。また、初版で使用している見出しはどこのものか。
- 【事務局】第一法規のもの。
- 【委員】材料が少ないので判断できない。次回会議までに議論できるだけの材料を用意してほしい。
- 【事務局】次回会議までに検討事項を整理する。
- 【委員】夏と秋の取り組みは分けた方が良い。また、歴代の委員長や平和施策懇談会のお名前を入れた方が良い。

### (4) その他

- ・事務局より、平和啓発DVDの作成について情報提供。
- ・委員より、教育委員会との連携について提案。

- 【委員】武蔵野ふるさと歴史館や教育委員会と連携できれば子どもたちにもっと知ってもらえるのではないか。
- 【事務局】イベントを開催する際に学校にチラシを置いてもらっている。夏季平和事業なら子どもたちにアプローチしやすいと思う。武蔵野ふるさと歴史館とは担当者同士で情報共有している。
- 【委員】武蔵野ふるさと歴史館の学芸員は面白い人が多いので、子どもたちに行ってもらいたい。お互いに協力することで相乗効果を生み出せればと思う。
- ・次回の委員会は、12月17日（木）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

### 3 閉会